

施策カールテ

1 施策の位置付け

担当課	保健福祉総務課
-----	---------

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	都市の福祉力を高める	取組の 基本方向	「都市の福祉力を高める」ため、福祉教育等により地域の人材育成を図るための「市民福祉活動への参画促進」、市民の保健・福祉ニーズに迅速かつきめ細かに対応するサービス体制を構築するための「保健・福祉サービスの総合化の推進」、ハードとソフトの双方からノーマライゼーション(等しく生きる社会)の実現を図るための「ユニバーサルデザインの推進」、適切な施設サービスを提供するための「社会福祉施設の充実」、住み慣れた地域において、自立した生活を送る環境をつくるための「保健・福祉サービス基盤と支援機能の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	------------	-------------	---	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	市民の福祉活動への参画促進				施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)
	市民が地域の福祉活動に積極的に参加しています。					H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
施策目標	市民が地域の福祉活動に積極的に参加しています。				ボランティアセンターの登録団体数(団体)	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---
施策を取巻く環境	近年のボランティア活動については、特定の福祉団体だけにとどまらず、民間企業や労働組合、NPO、生協などの様々な組織・団体も活動主体となり、新しい形態の活動も増えてくるなど、その活動内容も多岐にわたっており、平成19年市民アンケートの結果からも住民の福祉活動への関心が高まっているといえる。					---	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---
						167	168	169	170	171	96.5%	
						164	165				---	
						---					---	
市民の施策満足度	23.2%	施策の評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70%~90%未満)	達成していない(70%未満)	説明	ボランティアセンターに登録されている団体数は横ばいであるものの、登録個人数は着実に増加傾向を示し、ボランティア活動の斡旋依頼・相談も年間9千件あり、施策の目標を達成している。	現状課題の抽出	目標は概ね達成できているが、福祉活動等へ参加意欲がある市民誰もが気軽に相談しながら参加できるよう、引き続き、ボランティア活動や地域福祉活動に関する情報提供や養成講座などを充実させる必要がある。		
市民の施策重要度	68.2%		必要性(住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明	H19市民アンケートにおいて、6割以上の市民が市民活動等に参加意欲があるという結果に加え、事業実績も少しづつではあるが確実に増えていることから、市民の福祉活動に対するニーズは高い。				
			効率性(事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	各事業の実績値は着実に伸びているが、目標の達成に向け実施方法を工夫するなどの検討が必要である。				
			有効性(政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	ボランティアの発掘や育成、活動支援などを着実に実施し、様々な活動団体と連携協力しながら市民の福祉活動の参画を促進している。				

3 今後の取組方針

取組の考え方	今後さらに、市民の活動意欲や自主性を尊重しながら、ボランティア活動等の情報提供や養成講座などを充実させていくとともに、福祉活動等が継続的に安定して行われるような環境を整備することにより、誰もが地域の福祉活動に積極的に参加できるようにしていく必要がある。	政策評価 会議意見	達成状況と進捗状況は高い数値を示しているが、十分な市民満足度が得られていないため、今後もボランティア活動に参加しやすい環境づくりや福祉意識の醸成を促進する必要がある。
--------	--	--------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費(千円)	事業費(千円)			
再掲	やさしさをはぐむ福祉のまちづくり事業	すべての市民	H13	表彰の募集に対する応募件数(件)	30	30				継続	地域の福祉活動に対するニーズは高く、表彰への応募件数も増加傾向にあり市民周知と市民意識の高まりがみられる。今後も継続して実施し、市民が積極的に福祉活動へ参加できるよう一層効果的な周知方法を検討していく。
					13	16					
再掲	市民福祉の祭典開催	すべての市民	H19	参加者数(人)	8,500	10,200				継続	より総合的な本市の福祉イベントとして、市民意識の高揚と市民福祉の増進を図るため、効果的な実施方法の検討と合わせ、各団体等と連携協力しながら継続実施する。
					8,500	8,800					
再掲	こころのユニバーサルデザイン推進事業	すべての市民	H20	障がい者シンボルマーク等認知度(%)		34.8				継続	民間団体、事業者、地域組織等を活用しながら継続的に実施し、市民の福祉意識の醸成を促進するとともに、より効果的な手段の検討を行ない、積極的な啓発を図る。
施策事業費合計					0	0					